



今年は例年ない暖冬で、戸外に目を向けると梅の花やタンポポが咲き、春の兆しを感じるようになりました。新しい季節の始まりに子ども達もわくわくしながら毎日を過ごしています。さて、今年度もあとわずかとなりました。新しい環境に慣れず、泣いていた子ども達も今は元気に園庭を駆けまわっています。言葉も豊かになり、気の合う友達とごっこ遊びや言葉のやりとりをしながら、活発に関わり合い園生活を楽しんでいます。また先日の「みんなのはっぴょうかい」では、子ども達と保育教諭が踊りの振り付けや言葉のやり取りを相談しながら、楽しく劇遊びを進めていきました。当日は、保育室での開催ということでいつも以上に間近で子ども達の生き生きとした姿がご覧頂けたのではないでしょうか。子ども達も、大勢のお客さんの前で劇遊びが出来たことに満足感や達成感を感じることができました。こうした経験を積んで、また一つ自信を付けることが出来ました。その自信をもって残りのひと月を充実して過ごせるように保育を進め、進級に繋げていきたいと思います。



<子どもが安心して生活するために保育教諭がすること>

- *朝夕と日中の気温差が激しいので、状況に合わせて快適に過ごせるよう配慮していきます。
- *片付けや手洗い、着替えなどが生活の流れに沿って出来ているか見守りながら、必要であればさりげなく援助し、自信を持って生活出来るよう関わっていきます。
- *遊びや生活の中で、自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け止めたり出来るように、その子に合った言葉掛けをしていきます。
- *自分から友達を遊びに誘い遊びを進めていく姿を見守りながら、さらに遊びが広がるよう声を掛けたり、一緒に遊んだりします。
- *身近な自然の変化に気がつき、春の訪れを感じられるように天気の良い日には一緒に春見つけを楽しみます。

<子どもの遊びと教育的活動>

- *気温差を自分で感じ、上着を脱いだり羽織ったりして衣服の調整をします。
- *生活の流れに見通しを持ちながら、身のまわりのことを自分でやろうとします。
- *自分の考えや思いを持ちながら、相手の思いも尊重していきます。
- *散歩に出かけ、春の草花（つくし、菜の花、桜の芽吹き）を見たり触ったりします。



<お願いします>

- *残りわずかな赤組での生活です。体調管理に気を付け、元気に登園してきて下さい。
- *進級を控え、私達大人がお世話になった人々の話をして、感謝の気持ちを育てていきましょう。



<進級にむけて～子ども達が期待に胸膨らむように～>

赤組での生活を通して、子ども達は様々な出会い（新しい環境・友達・保育教諭・遊びなど）を経験しながら、心も体も本当に大きく成長しました。「みんなのはっぴょうかい」の後には他の学年、クラスと劇の見せ合ひっこをしました。桃組や青組のお兄さん、お姉さんが大きな声で台詞を言ったり、堂々と楽しそうに踊る姿に子ども達は釘付けでした。今月は、青組との交流会やお別れ遠足で桃組と手を繋いで歩くなどの計画をしており、憧れの気持ちを持って進級出来るような活動を取り入れていきたいと思っています。

さて、進級を迎えるこの時期に「もうすぐ桃組になるんだから、○○しないといけないよ」「○○しないと桃組になれないよ」等とつい否定的な言葉で声を掛けてしまう場面はないでしょうか。園ではそのつい言ってしまう言葉を「桃組さんってこんなこと出来るんだって。やってみる？」と誘ったり「すごいね。桃組さんみたい」と前向きになれるような声かけに変え、活動に楽しく取り組めるように心がけています。園だけでなく、ご家庭でも1年間の成長を振り返り、進級する喜びやワクワクを子どもと一緒に感じられる1ヶ月にしたいですね。

～楽しかった赤組での生活を振り返って～

赤組での一年間は、楽しいことがいっぱいでした。大好きな友達や先生との出会い、季節ごとに様々な遊びをしました。また、クラスごとにお出かけしたり、クッキング遊びをしたこともありました。そんな思い出の一場面を掲載します。お子さんと一緒にご覧頂き、赤組での楽しかった思い出をぜひ聞いてあげて下さい。

